

## 平成29年度全国学力・学習状況調査（3年生で実施）の結果について

### ○本校の状況

- 2教科（国語・数学）とも、A（知識）とB（活用）の結果がほぼ一緒であるが、国語はA（知識）が高く、数学はB（活用）の方が高い結果である。
- 2教科（国語・数学）とも、選択式の問題は高い結果が出ているが、記述式の問題を苦手としている。
- 数学においては、関数に関する分野を苦手としている。図形に関する分野は、伸びている。
- 国語も数学も関心意欲が高い。
- 「授業でわからないことがあったときに、友達に教えてもらうことが多い」と回答している生徒が多いが、そのままにしている生徒もいる。
- 「自分の考えや意見を発表するのが得意」と回答している生徒が多い。学級会では話し合いでみんなを決めたり、折り合いをつけたりして意見をまとめている。また、「学級でみんなで協力をして何かをやり遂げ、うれしかった」とほとんどの生徒が回答している。
- 「将来の夢や目標を持っている」「失敗を恐れず挑戦している」「自分には、よいところがある」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した生徒が多い。「人の役に立つ人間になりたい」と思う生徒が多い。
- 「家の手伝いをしている」と回答した生徒が多い。
- ゲームやメールをする時間、インターネットをする時間、テレビを見る時間が全国や県平均より短い。読書はほとんどしていない。新聞を読んでいる生徒も少なく、ニュースはテレビやインターネットから知ることが多い。
- 家庭学習の時間が短く、学習塾で勉強をしていると回答している生徒が多い。

- 「学校に行くのは楽しい」「学校で友達と会うのは楽しい」と回答した生徒が多い。
- 規範意識が高く、学校の規則や友達との約束を守る生徒が多い。
- 生活習慣（朝食をとる、規則正しい生活）は身につけている生徒が多い。

## ○経年との比較

昨年度のデータとの比較すると

- 国語、数学とも、昨年より上がっている。
- 自尊感情や規範意識、言語活動の結果が大きく伸びている。

## ○今後の取り組み

- 2教科とも記述式の問題を苦手としているので、授業の中で書く機会を多くし、伝えたいことが的確に表現できるようにしていく。
- ワンデイワンページやKタイムの取り組みで、知識は定着しているが、活用できていない。身に付けた知識を生かして物事が考えられるような授業の工夫をする。
- 言語活動・読解力の良い状況が続いているので、今後も力を入れていきたい。生徒主体の行事運営や学び合いの取り組みの成果であると考えられる。今後も継続して取り組んでいく。
- 生活習慣は、昨年より向上しているので、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していきたい。
- ゲームやメール、テレビを見る時間は昨年度より短くなっているが、家庭学習時間が少ない。毎日の学習を大切にし、家庭学習の時間を確保する指導をする。